

食物栄養テーブルマナーの旅

食物栄養専攻

矢 埜 みどり

平成13年11月5・6日の両日、神戸市へテーブルマナー・ステイマナー研修の引率に行って来ました。

例年、テーブルマナーの研修ということで、緊張ぎみの学生も、行程のはじめにユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）を組み入れたため、今年は和やかな雰囲気、旅行が始まりました。

開園間もないこともあって、“初めて”という子が多くみんな楽しそうにアトラクション巡りをしていました。そんな遊びの中でも、必ずUSJによる経済効果や人を引きつける催し物のポイント（栄養指導に役立つかも）、またアメリカの食文化等、広い視野で物事を学生は捉えてくれたと思います、たぶん……。

名残惜しそうだったUSJを後に、夕方には神戸オリエンタルホテルでのステイマナー・テーブルマナーの研修開始です。いつもうるさいくらい元気な一年生もいつになく静かで、ぎこちない手つきながら一生懸命料理と格闘する姿は真剣そのもので、「授業中もいつもこれくらい緊張して聞いてくれたらな～」と、部屋の隅で一人思う私でした。しかし、若いということは



素晴らしいことで、マナー指導が進むにつれて、学生の手つきもさまになり、上品に食事を楽しんでいる姿が、一瞬気品に満ちていたのは、私の目の錯覚だったのでしょうか？

二日目の中央卸売場における衛生管理の説明は、市場での食品の流れを理解するとともに、細菌検査や金属汚染の検査以外に、狂牛病の検査等もこのような機関で行われている事を知って感動しているようでした。また、実際の分析機器の仕組みや、培養技術の説明を受けて、栄養士の2本柱のひとつである衛生管理が、このような検査で行われていることを理解してくれたことでしょう。

この旅行を振り返って、身だしなみも相手に対する思いやりということで、きちんとした格好でマナーに望んでくれたこと、集合時間を守ってくれたこと等、相手に対する思いやりこそマナーの基本であることを、一泊2日の短い旅でしたが、学生自身きちんと態度で示してくれた事を嬉しく思います。